

申請年月日	令和3年9月22日	使用開始日	
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西 宗治
レジメン名	【分割】キイトルーダ+nab-PTX④		
疾患名	乳がん	適応の備考	PD-L1陽性(CPS $\geq$ 10)のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌
適応分類	進行再発		
1コース日数	分割レジメン 21日間(1コース84日間)	総コース数	コース 催吐性リスク軽度(KEYNOTE-355試験:悪心 30.8%、嘔吐 16.9%)
抗がん剤投与量・投与日 〓キイトルーダ200mg/body day1 アブラキサン100mg/m ² day1、8			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)			

[illegible]

【投与上の注意】

キイトルーダ:0.2~5 μ mのインラインフィルターを使用して投与する。

キイトルーダ：希釈後の最終濃度を1～10mg/mLとする。

キイトルーダ: Infusion reaction 経験例では次回より投与前1.5時間(±30分)に以下の薬剤で前処置を行う。

- ・ レスタミン5錠経口投与(又は同等の抗ヒスタミン薬)
- ・ アセトアミノフェン500～1,000mg経口投与(又は同等の解熱剤)

アブラキサン: 1Vあたり生食20mLで溶解する。調製した懸濁液は必要量をバイアルから抜き取り、事前に空にした点滴バッグの中に入れる。(懸濁液を生食で希釈しない。)

アブラキサン: インラインフィルターは使用しないこと。血液製剤の同意書と伝票が必要。

アブラキサン:アブラキサンの後は生食50mLでフラッシュする。

アブラキサン:他剤との配合、または同じ静注ラインで同時注入しない。